



News Release

2024年11月8日

各 位

会 社 名 アジアパイルホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 黒瀬 修介
(コード:5288、東証プライム市場)
問合せ先 企画部長 鈴木 秀明
(TEL 03-5843-4173)

子会社ジャパンパイルの新工法開発に関するお知らせ

当社の国内事業子会社ジャパンパイル株式会社は、下記の通り、先端翼付き回転貫入ぐい工法「JP-Pile 工法」を開発し、販売を開始しましたので、お知らせいたします。

本件新工法につきましては、6月に日本建築総合試験所の性能評価を取得し、今年の9月に国土交通省より大臣認定を取得いたしました。新工法に関する施工手順や支持力計算式等の技術的な詳細については、ジャパンパイル株式会社のホームページの「施工・製品情報」のサイトに掲載いたしますのでご覧ください。

記

1. 開発経緯

当社が従来得意としてきた小径コンクリートパイルの市場が、小径鋼管杭や地盤改良等へシフトする中で、当社としては大径・高支持力杭の開発に注力し、大型プロジェクトに重点を置いて、経営資源や人材を積極的に投入してきました。

一方で、中小規模の建物では小径鋼管杭の需要は依然として高いことから、この市場を再開拓するため、今般、当社は新たに独自の先端翼付き回転貫入ぐい工法を開発致しました。

2. 開発概要

本工法は、鋼管の先端に、掘削刃と角度を設けた2枚の半円状の先端翼板を取り付けた鋼管杭を、くい頭部に回転トルクを与えることにより地盤中に回転貫入させ、支持層に定着させて支持力を発現する工法です。また、既製コンクリート杭工法で培ったICTによる施工管理や二次元コードを活用した杭材管理により、施主様、設計事務所様、元請業者様への信頼性の高い高品質な杭を提供できることを目指しています。

3. 新工法名

「JP-Pile 工法」 ※商標登録申請中

既製コンクリート杭工法での高品質な施工管理、杭材管理を反映させた従来にない先端翼付き回転貫入ぐい工法として、ジャパンパイルブランドによる信頼性のある杭を表現するため、「JP-Pile 工法」と命名しました。

4. 今後の目標

現在、小径鋼管回転貫入杭の全国市場は推定 500 億円を超える市場となっております。当社としては進行中の新 5 か年計画の最終年度 2028 年度には同工法による売上高 50 億円を目標としています。将来的には 100 億円を目指して参りますが、もともと小径杭マーケットでは当社は豊かな経営資源を有しておりますので、出来るだけ早期に 100 億円を越えるべく努力して参ります。

5. 技術情報詳細(下記 URL よりホームページをご参照ください。)

URL <https://www.japanpile.co.jp/method/buildingtech/jp-pile/>

[\(JP-PILE 工法 | 施工法\(建築\) | 施工・製品情報 | ジャパンパイル株式会社\)](#)

以上